

DV 被害者保護施設に地デジテレビ 19 台を贈呈

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川県福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、この度神奈川県知事（県民局県民活動部人権男女共同参画課）に対し、地上デジタル放送対応テレビ 19 台 121 万円相当を寄贈いたしました。

このテレビは、同人権男女共同参画課とかながわ女性会議を通じて「DV被害者保護施設」14 施設に配分されました。

これに対し、県知事から神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会に感謝状が贈られました。

1. 日 時 平成 22 年 6 月 3 日（木） 午後 3 時 10 分から同 25 分

2. 場 所 神奈川県庁本庁舎 3 階 第二応接室

3. 概 要 DV被害者は、保護期間中は外出にも制約があることから、テレビは施設内において被害者は勿論、その子供たちには欠かせないものとなっています。

贈呈式において、関根会長は「神奈川県が推進している『かながわDV被害者支援プラン』に大変共鳴したところです。保護を求めておられる方々が、一日も早く自立して、社会の中で活躍できることに貢献できるならばと思い、施設の中でひと時を楽しんで頂けることを期待しながら、テレビを寄贈することとした次第であります。」とあいさつしました。

これに対し、県知事からは、「DV被害者を直接支援する団体は、加害者からの追及を避ける必要があることから、その保護施設などをPRすることが困難であり、寄付も集まりにくい。今回のように100万円を超す大口の寄付は初めての事です。被害者の方々が施設の中で安定した生活を送るにはぜひ必要なものです。」と感謝の言葉を述べられました。

テレビを送られた施設で保護されている多くの方からも、感謝の便りが届けられています。



写真左：感謝状をいただいた関根会長（左）と目録を手に松沢神奈川県知事

写真右：寄贈したテレビを囲んで かながわ女性会議 上條代表(後列右端)と業界関係者